

年頭のごあいさつ



美浦村長
中島 栄

新年明けましておめでとうございます。
令和三年の新春をお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

本年も、「人と自然が輝くまち みほ」の村政運営の先頭に立ち、執行部と村議会の総合力を生かし、長い歴史が育んできた美浦村の文化を守りながら、皆さまと共に歩んでまいりたいと存じます。

さて、昨年を振り返りますと様々な出来事がありました。近年増加している自然災害は、昨年も日本に大きな爪痕を残しました。特に近年では台風が猛威をふるっており、9月に発生した台風10号では九州地方に甚大な被害をもたらしたのは記憶に新しいことと思います。災害はいつ起こるか予測するのは非常に困難です。村では想定外の有事にも「備えあれば憂いなし」とするべく、防災行政無線の整備や災害時の備蓄を進めるなど、より一層装備の拡充をし、より安心・安全なまちづくりを進めていきたいと思えます。皆さまにおかれましてはさらなる防災意識を高く持ち、いざという時に速やかに行動に移せるよう日頃からの備えをお願いいたします。

した。プラス成長は4期ぶりとなりますが、コロナ前の水準には程遠い状況であり、国の肝いり経済対策事業として開始された「GOTOキャンペーン事業」により、経済復調の予兆は見えたものの、国民の活動を活発化させたことによるヒトの往来により、新たな感染者を増やしているのではという声も上がっております。そのような中、9月16日に安倍晋三内閣総理大臣の辞任を受け、第99代内閣総理大臣に就任した菅義偉内閣総理大臣には、少子高齢化、人口減少対策に加え、この国難ともいえるコロナで冷えきった経済状況を打破するような、斬新ながらも堅実である政策を推進・実行していただくことを期待します。

暗い話題が続く一方、明るい話題もありました。スポーツ界では9月に行われた全米オープンテニス大会で、大坂なおみ選手が2度目の制覇を果たし、また、将棋界では藤井聡太七段が7月に「棋聖」のタイトルを獲得、タイトル獲得の史上最年少記録を30年ぶりに更新、8月には「王位」のタイトルも18歳1カ月で獲得し、史上初の「10代二冠」さらに「八段昇段」は史上最年少記録を62年ぶりに更新しました。若い力が暗い日本を盛り上げてくれました。

また村では、JRA美浦トレーニングセンター国枝栄厩舎所属のアーモンドアイ号が、引退レースとなる、東京競馬場（東京都府中市）で11月29日に開催されたGIレース「第40回ジャパンカップ」において優勝、有終の美を飾るとともに、国内外を含め芝GIタイトルを9つ獲得、生涯獲得賞金も歴代トップとなり、競馬ファンならずともその名を轟かせる名馬が美浦から誕生しました。

コロナ禍の社会を見据えた時、農山漁村を抱え、多様な地域の価値を有する市町村の将来にわたっての持続可能性の追求が、大都市のバックアップ機能の強化に繋がり、これからの国づくりに大きく貢献するものと考えられます。そして、

しかし、昨年は何と言っても「コロナ」（新型コロナウイルス感染症）という言葉に尽きる一年となってしまいました。昨年1月16日に、国内で初めての感染事例が確認されてから、あつという間に国内で広がり、感染拡大防止のため様々なイベントやスポーツの自粛、学校の臨時休業、経済活動の縮小などの措置が実施されました。4月7日に7都府県に緊急事態宣言を発令、4月16日には対象地域を全国に拡大（茨城県は特定警戒都道府県に指定）しました。5月25日に全国で緊急事態解除宣言はされたものの、感染の第2波、第3波が訪れている状況にあります。この世界規模での感染拡大（パンデミック）は、昨年夏に開催が予定されていた2020年東京オリンピック・パラリンピックの1年程度の延期も決定されました。

ワクチンの早期承認が実現し、国民への接種が開始され、感染拡大が終息することを望みたいものです。

さて、昨今の経済状況に目を向けてみますと、7月～9月期の実質GDPは対前期比年率プラス22・9％と、4～6月期に戦後最大の落ち込みとなった反動で高い伸びを記録しました。

我が国の今世紀最大の課題ともいえる人口減少・少子高齢社会を克服し、災禍に強く、持続可能な国づくりを推進するためには、「東京一極集中の是正」と「地方の活性化」を車の両輪にして、必要となる各般の政策を強力に押し進めなければなりません。

私たち一人ひとりの責任ある行動も問われています。命と健康の大切さを身近に感じながら、「他人ごと」ではなく「自分ごと」として何ができるかを日々考え、行動に移さなくてはなりません。そして、互助や共助の支え合いの心を大切にしてい、目の前にある危機を乗り越え、この前例のない厳しい試験・経験を、将来に続く人口減少社会の克服につなげていきたいと思います。

美浦村としても、先人たちが守ってきた伝統文化の継承や自然環境の保全は、私たちが担っていくべき責任です。魅力ある地域社会を継続していくためには、住民と行政が手を携え、主体的・自立的に施策を展開していくことが不可欠であり、それが基礎自治体たる美浦村の発展に繋がります。霞ヶ浦をはじめとする自然豊かな景観は、人々の心に癒しと安らぎを与えてくれます。この素晴らしい環境を未来に繋いでいきたいと思います。これからも、特色ある、魅力あふれる施策を実施していきたいと考えております。「地域主権」の確立に向けて村民の皆さま自らがまちづくりに参加され、行政と村民の皆さまが一体となり、ともに発展していけるよう最大限努力してまいります。

住民が主役の村政へのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げますとともに、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和三年 新春